

パーキンソン病におけるダンス活動

PDダンスカフェ in 岡山

参加者
募集！！

仲間と出会いたい方、新しいことに挑戦し続けていきたい方のために・・・

『PDダンスカフェ』では車いすや椅子に座ったまま出来るダンスの紹介やパーキンソン病のレクチャー、カフェタイムでの交流・相談会を通して、パーキンソン病との付き合い方や悩み、疑問、情報等が共有できるひとときを提供しています。今回は福岡からパーキンソン病の専門医と専門看護師をお招きして開催します。

2024

12 / 21(土) 13:30~16:30 ごろまで (開場 13:00)

会場 岡山芸術創造劇場 ハレノワアートサロン (岡山市北区表町 3-11-50)

対象 パーキンソン病の方、ご家族、介護者などパーキンソン病に関わる方々。
パーキンソン病やPDダンスについて学びたい方など。

定員 40名程度 (定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。)

参加費 お一人様 500円 (当日現金にてお支払いください。)

申し込み締切 12月1日(日)

※抽選の場合、結果は12月7日までに電話かメールにてお知らせいたします。



パーキンソン病と共に暮らす、すべてのみなさまへ

会場アクセス

障害などの理由により歩行が困難な方は事前申込制(先着順)にて専用駐車場をご利用いただけます。
対象外の方及び専用駐車場満車後は、近隣のコインパーキング及び公共機関をご利用ください。

駐車場の予約電話 ▶ 086-201-8014

※12月8日9時より当選者を対象に申し込み受け付け※

JR岡山駅からのアクセス【JR岡山駅より路面電車】

東山行▶「西大寺町・ハレノワまえ」下車 徒歩約5分

清輝橋行▶「大雲寺前」下車 徒歩約5分

●ご来場にあたって一般のお客様用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



岡山芸術創造劇場
ハレノワ

主催：文化庁、一般社団法人パラカダンス、公益財団法人岡山文化芸術創造 共催：岡山市
協力：坪井義夫教授、芸術文化観光専門職大学古賀研究室、(株)サンウェルズ、Dance for PD Japan〜パーフェクトダンス
文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」



PDダンス®
Dance for PD Japan



岡山芸術創造劇場 ハレノワ

ここではみんながダンサーです。

PDダンス®とは？

車椅子や椅子に座ったまま出来るダンスで、PDには「パーフェクトダンス」と「パーキンソン病」2つの意味があります。アメリカで始まった「Dance for PD®」の活動をもとに、日本では2019年～福岡にて文化庁の委託事業として展開し全国に広がりを見せています。PDダンスは五感や想像力を働かせながら振り付けと自由表現を組み合わせることで、脳内神経が活性化され心もほぐれる効果があります。はじめての方でも無理なく安心してご参加いただけます。今回は福岡からPDダンスの指導者をお迎えしみなさんと一緒に踊ります。

スケジュール

13:00～	受付開始
13:30～13:40	ごあいさつ・事業のご説明（野中）
13:40～14:10	レクチャータイム（坪井）
14:10～14:30	休憩・準備
14:30～15:30	PDダンスタイム（マニシア・野中）
15:30～15:45	休憩・移動
15:45～16:30	カフェタイム（坪井・山本）



◀映像リンク
ダンスカフェの様子を
ご覧いただけます。

※カフェタイムでは当事者のグループとご家族を含む
介護者のグループが2つのお部屋に分かれて、それぞ
れお話できるテーブルを設けます。

お申し込み方法

 以下の必要事項をメール・FAX・お電話のいずれかにてお知らせください。

- ①参加者の人数と氏名 例) 福岡花子(当事者)・福岡太郎(夫)の2名で参加します。
- ②参加者の年齢 (任意)
- ③顔出しの可否 (SNSや文化庁の報告書用に写真を使用する場合があります)
- ④歩行に不安のある方はお知らせください。(車いすや歩行器使用の有無等)
- ⑤事前に相談したい内容が決まっている方はお知らせください。(当日、その場でもご相談いただけます)

お申込み・お問い合わせ

 担当 ▶ 一般社団法人パラカダンス 野中

メール: info@paracadance.com 電話・FAX 092-831-8950 携帯 090-7468-7867

レクチャー講師・カフェタイム立ち合い／坪井義夫教授



1986年千葉大学医学部卒。同大学神経内科に入局後、松戸市立病院等を経て1997年より福岡大学神経内科所属。2000年から3年間米国 Mayo Clinic 留学後、再び福岡大学病院に所属し、2011年10月～2024年3月まで脳神経内科学教室教授を務める。脳神経内科領域でも運動障害学、特にパーキンソン病を専門として臨床、研究をする傍ら、友の会顧問活動を通じて社会活動を行っている。現在は、つつみクリニックにてパーキンソン病専門外来センターのセンター長として勤務の他、順天堂大学共同研究講座特任教授も務める。

PDダンスファシリテーター／マニシア



ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に国内外で多世代かつ多様な方々とコミュニティダンスを展開。ダンス・ムーヴメント・セラピストとして、生きづらさを抱えている人々や支援者に向けてのダンスも意欲的に取り組んでいる。マークモリス・ダンスグループでDance for PD®の指導者育成講座を修了し、2016年より福岡でPDダンス®を始める。2019年より「PDハウス」でも実施。さらに2023年からはPDダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。



▲PDダンス
ホームページ

看護師・カフェタイム立ち合い／山本澄子



1994年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002年から脳神経看護を経験。2017年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019年World Parkinson Congress(WPC)にケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PDダンスでは当事者だけでなく、ご家族(ケアパートナー)の方々への支援に取り組んでいる。



▲PDダンス
FBページ

PDダンス®運営・アシスタント／野中香織(そら)



高校卒業後、ダンス未経験でショーダンサーとして活動しながら叩き上げでダンスを学ぶ。退団後多様な表現に出会い、2016年コミュニティダンスファシリテーター養成講座修了。2018年福岡にて一般社団法人「パラカダンス」を設立し、あらゆる垣根を超えた生き様のダンスに魅了され、医療、福祉、教育現場におけるダンスの可能性を探っている。2019年度から文化庁の委託事業としてPDダンス®を運営。



▲YouTube